

# 会津美里町立本郷中学校 実践研究テーマ「自らの生き方について考え、主体的に将来を拓く生徒の育成」 ～郷土のよさを生かした活動、キャリアパスポートの活用を通して～

全校生徒一人一人の笑顔ある学校生活の実現を目指した  
「すまらいサミット」学級活動(1)の取組

- 題材名 すまらいサミット第3弾しあわせ HONGO
- 本時のねらい  
全校生が笑顔いっぱい生活していくための具体的な行動について考え実践しようとする意欲を高める。
- 本時の概要  
よりよい人間関係の構築に向けて、生徒会役員が各学級において話合いの進行を行い、活発な意見交換を促した。全校で同じ動画視聴を行い、全員が笑顔になる学校生活の実現に向けて大切なことや具体的な行動について考え、オンラインを活用し全校生で共有する。

○「すまらいサミット」での子どもの姿



共通の動画視聴(みんなで跳んだ)



話合い(最下位だったのどうして?)



話合い(笑顔いっぱいな生活に向けての具体的な行動とは)



オンラインによる共有(各学級代表の発表)

地域と連携し、働くことや郷土のよさについての考えを深める  
総合的な学習の時間(3年)の取組①

- 单元名 バーチャル企業訪問・学校交流
- 本時のねらい  
企業訪問・学校交流をとおして、働くことについての考えを深め、自己の将来についての夢や希望をふくらませる。
- 本時の概要  
スマートシティ会津若松のシンボリック的存在である AiCT 内の企業の協力により、複数の中学校と一緒にオンライン上で企業訪問を行う。様々な企業で働く社員から働くことや会津のよさについての話を聞いたり、他校の生徒と意見交換したりすることによって、一人一人が働くことの意義について考える。

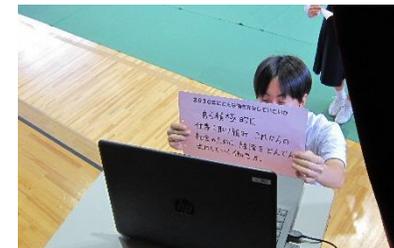
○「バーチャル企業訪問・学校交流」での子どもの姿



企業からの説明(オンライン)



班でのまとめ・話し合い



「2030年どんな働き方をしたいか」について考えたことを他校生と意見交換(オンライン)



※すまらいサミット:

「スマイルライフサミット」生徒会によるよりよい学校生活に向けた全校生による話合い

# 会津美里町立本郷中学校 実践研究テーマ「自らの生き方について考え、主体的に将来を拓く生徒の育成」 ～郷土のよさを生かした活動、キャリアパスポートの活用を通して～

地域と連携し、働くことや郷土のよさについての考えを深める  
総合的な学習の時間(3年)の取組②

- 単元名 郷土理解を深めよう(陶芸教室・摘果体験)
- 本時のねらい 郷土を理解し体験や調査を通して自分の生き方への考えを深める
- 本時の概要 地域産業である伝統工芸の「本郷焼き」の制作体験やりんごの摘果体験を通し、郷土のよさを理解するとともに様々な人との関わりを通して自分自身の将来について改めて考える。

○焼き物体験



町内 10 の窯元さんの協力により全校で実施します。焼き上げていただき完成した作品は、翌年 8 月に行われる「本郷せと市」で展示販売します。

○摘果体験



学校前のりんごの木を活用し、地域の農家の方の説明を受けて 3 年生が摘果体験を行います。10 月には生徒がこども園の皆さんの収穫を手伝います。

よりよい人間関係づくりに向けた  
取組(1年)

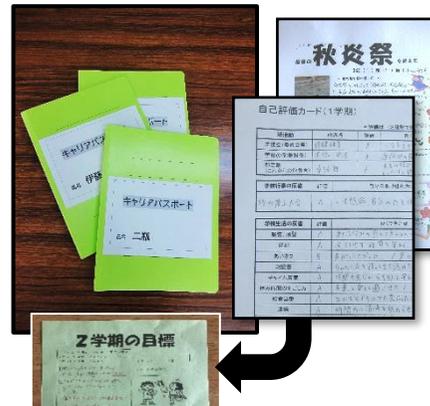
①「ありがとうの木」



クラスメイトへの感謝の気持ちを花形のカードに記入し掲示します。相互理解や温かな人間関係の醸成、信頼関係づくりが進みました。

キャリアパスポートの作成と  
活用に向けた取組(全学年)

②「キャリアパスポート」の活用



キャリアパスポート個人ファイルに様々な活動の振り返り等を綴じ込み、道徳科や学級活動等において活用します。

○研究のまとめ

- ・ よりよい人間関係づくりに向け、生徒会役員が中心となって、全校一斉に話し合い活動等を行い積極的な意見交換を繰り返してきた。自分たちで学校の課題に気付く解決する経験は、生徒の自信を高め、生き方についての考えを深めることができた。と考える。
- ・ 地場産業である陶芸に関する活動、AiCT で働く方や卒業生のキャリア講話、摘果体験等から郷土のよさを改めて実感し、将来の進路等に関する考えが広がった。
- ・ 体験活動等の振り返りをキャリアパスポートに綴じ込むことで、後日の学習につなぎ、生かすことができた。
- ・ 学校評価アンケート(生徒)結果では、全ての学年で「学校生活は楽しく充実している」「互いに考えを述べ自分の考えを深めようとしている」「互いのよさや頑張りを認め合っている」等の項目について向上し、いずれも肯定的な評価が 9 割程度となった。